

新しい市役所の建設が始まります

新庁舎整備課 ☎ 55-5454

新庁舎整備のための実施設計が10月末に完成しました。市民の皆さまにとって身近で愛される庁舎になるよう、引き続き取り組んでいきます。



末次公園（正面入口）から見た新庁舎（イメージ）



①議会機能

議場は出雲民芸紙・来待石など、松江市の伝統的素材を使用した上品な仕上げとします。



③市民交流・協働機能

市民の交流の場となるよう、テラスや会議室は一般開放エリアを作ります。

⑥事務機能

執務室は、間仕切りの無いオープンな空間とすることで部署間の連携をスムーズにし、行政サービスをさらに向上させます。



②窓口機能

来庁者のプライバシーを確保するため、間仕切りや半個室などを設置し、間隔も広くします。



④利便機能

コンビニ・銀行窓口（1階）、カフェ（2階）などを設置し、利用者の利便性を図ります。

⑦防災機能

「免震構造」の採用や、最新の風水害予測を踏まえた構造としています。

安心安全で 人に優しい 8つの機能

新しい市役所には、次のような機能があります。



⑤ユニバーサルデザイン

車いす、ベビーカーでも安心して利用できる通路の幅を確保します。

⑧環境配慮機能

吹抜（エコボイド）によって効率的な自然換気や採光が可能になります。

事業概要

■建築概要

敷地面積	19,795.37㎡
建築面積	6,408.6㎡
延床面積	25,370㎡
構造種別	鉄骨造 免震構造
階数	地上6階 地下1階
新庁舎 最高の高さ	27.8m

※建築面積、延床面積には文書庫棟・車庫棟を含みます。延床面積は屋内部分の合計です。

現在



新庁舎



■事業スケジュール

2020年度 (令和2年度)	2021年度 (3年度)	2022年度 (4年度)	2023年度 (5年度)	2024年度 (6年度)	2025年度 (7年度)	2026年度 (8年度)
		【1期工事】 現在の本館南側駐車場に 1期部分を建設	【2期工事】 現在の本館を解体し 2期部分を建設		【3期工事】 別館などを解体し 外構・別棟整備	
			引越・1期部分供用開始		新庁舎本体完成・引越・供用開始	

■事業費

設計費・測量調査費	5.6億円
建設工事費	136.1億円
備品その他費用	8.3億円
合計	150.0億円

※建設工事費には、解体費（7.2億円）、外構工事（6.0億円）を含みます。

■財源

国庫支出金	0.3億円
市債	99.6億円
庁舎建設基金	50.0億円
一般財源	0.1億円
合計	150.0億円

※市債99.6億円のうち約30億円は国の財政支援があります。

実施設計では、テラスや会議室を使いやすい構造とるように工夫しつつ、内外装を質素なものにし、汎用性の高い工法を使用するなど経費節減に努めました。一方で、今後の建設コストの上昇への備えも盛り込み、事業費を150億円としています。

今後も引き続き経費節減に努めていきます。

建設工事に伴う、市民の皆さまへのお願い

工事業者が決定した後には、来庁者駐車場の確保のため本庁舎北側の自転車置場を移転する準備工事を行う予定です。市民の皆さまにはご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。

※工事の詳しい内容については、改めてお知らせします。

現在の本庁舎北側自転車置場



実施設計のポイントをまとめた「実施設計説明書」は本庁・支所の市政情報コーナーのほか、市ホームページや各公民館でもご覧いただけます（[HP](#) 松江市 新庁舎 で検索）。市ホームページのトップページ「トピックス」欄のリンクからもご覧いただけます。

